

技能実習生
47都道府県プロフィール（Ⅱ）

佐賀県

野菜の苗植えでインドネシア実習生と交流 伊万里市黒川町

2021/4/20

伊万里市黒川町の黒川町まちづくり運営協議会（小島哲郎会長）は17日、地元で働くインドネシア人の実習生ら10人と野菜の苗を植える「外国人との異文化交流事業」を開いた。

黒川町は造船業が盛んで、市内の他地区と比べて最も多い約310人の外国人が暮らす。交流事業は住民との相互理解を深めようと、中山間部にある奥野地区の元水田約10アールを無償で借り受けて初めて企画した。

実習生は地元農業者5人の指導を受けながら、約3アールの畑に唐辛子やトマト、キュウリの苗を植えた。協議会によると、今後はインドネシアの野菜やハーブの栽培、収穫物を使った料理教室にも取り組みたいという。



<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/726248/>

技能実習生の実情迫る トークイベント

シアター・シエマで

2021/5/23

外国人技能実習生の実情に迫る映画「**海辺の彼女たち**」のトークイベントが22日、佐賀市松原のシアター・シエマで開かれた。藤元明緒監督が東京からオンラインで参加し、映画に込めた思いや取材の経緯などについて語った。

映画は、過酷な労働環境を強いられたベトナム人の労働実習生を題材にしている。藤元監督は、ミャンマー出身の妻と共同運営するSNS（会員制交流サイト）に不当な扱いを受けて苦しむ実習生から「逃げたい」というメッセージが届いたことを明かし、「最終的に連絡が途絶え、映画を通して彼女が過ごしたであろう時間を再現するという着想だった」と振り返った。イベントは認定NPO法人地球市民の会が主催し、会場とオンラインで約60人が参加した。



藤元明緒監督（左上）がオンラインで参加して開かれたトークイベント＝佐賀市松原のシアター・シエマ

<https://www.saga-s.co.jp/articles/-/680703>

外国人技能実習生が**自転車安全教室** 佐賀市の金属加工会社

2021/7/15

外国人技能実習生を対象にした交通安全教室が、佐賀市久保田町の金属加工業、ケイエスケイツールで開かれた。移動に自転車を使うインドネシア出身の8人が、自転車に関する交通ルールやマナーを学んだ。

同事業所の実習生の一人が昨年、就業時間外に交通事故に遭い、佐賀市に「交通ルールを学ぶ機会が得られれば」と相談した。これまで技能実習生対象の教室を開いたことがなかったため、**市生活安全課は国際課と協力して、平仮名や分かりやすい表現を使った「やさしい日本語」で資料を作成し、教室を開いた。**



技能実習生の現状学ぶ 佐賀市でセミナー 尊厳持ち共生できる社会に

2021/11/10

外「で一誰訴えた。外国人の住民生と互いに暮らしやすい地域づくりを考える
多文の共生とミナ一が6日、佐賀市の佐賀を商工ビ
あつた。優大氏が講演し、問題など合の良いい共存ではなく
の望月尊厳を保持して共に暮らせる社会づくりが必
誰訴えた。

望月氏は、在留外国人が増大する非正規雇用などを背景
に急増するのを解説した。外国人が都市実習生が受け入れられて
いるのを解説した。

「実習生は就労や社会生活の権利も制限されており、相
題は受け入れを考慮しよう」と呼び掛けた。

セミナーは佐賀県国際交流協会が主催し、50人が参加した。



<新型コロナ>入国制限2年、鳥栖の日本語学校、 学生ゼロに 他国に流出、緩和後も厳しさ続く

2022/3/22

2年間に及ぶ新型コロナ禍の入国制限で、鳥栖市の日本語学校「弘堂国際学園」の学生がゼロになった。3月から留学生や技能実習生らの入国制限が緩和され、政府は5月末までには留学生の相当程度が入国できるとの見通しも示しているが、同校の入学予定者は今のところ4月と5月にそれぞれ1人だけ。将来、日本で働いたり、出身国との懸け橋になるような人材を育てる重責を担っているという自負を支えに、厳しい現実と向き合っている。現在、**入学待機者は220人おり、多くがコロナ禍前から2年間、入学機会を待ち続けてきた学生**という。留学のため学んだ日本語を忘れないよう毎週オンライン授業を続け、関係をつなぎ止めてきた。



当機構ベトナム人技能実習生が「佐賀県職業能力開発協会会長賞」を受賞しました。

2022/6/6

- 5月27日（金）、佐賀県庁にて開催された令和3年度後期技能検定技能競技大会成績優秀者表彰式で、当機構のベトナム人技能実習生 ドー チュン タイン さん（以下、ティンさん）が技能検定2級の鉄筋施工（鉄筋組立て作業）において、特に優秀な成績を収めた合格者として「佐賀県職業能力開発協会会長賞」を受賞しました。
- 同大会は佐賀県で電気機器の組み立てや機械加工、鉄筋施工など29の職種を対象の技術向上のため毎年2回実施している技能検定技能競技大会で、昨年度は技能検定2級に申請者116人の内51人が合格しました。
- ティンさんは技能検定で日本人と同じ2級鉄筋施工（鉄筋組立て作業）学科試験と実技試験を受験して合格し、双方の総合点が特に優秀な成績であったことから会長賞を受賞しました。



佐賀県庁にて表彰式で賞状を受け取るティンさん

https://imm.or.jp/cms/jp_news/20220606topic1/